

福祉だより

～夢と安らぎのまちづくり～

編集・発行

社会福祉法人富士川町社会福祉協議会

〒400-0505

山梨県南巨摩郡富士川町長澤 1942 番地 1

富士川町地域健康福祉センター内

電話：0556-22-8911

FAX：0556-22-8913



おばあちゃんたちに教わりながら料理に挑戦！（7ページ）

目次

赤い羽根共同募金	2～3ページ
トピックスふじかわふくし2023	4ページ
シニアクラブ連合会だより	5ページ
ボランティア情報	6～7ページ
ふくし、お知らせ、寄附の報告	8ページ

赤い羽根共同募金

～自分のまちを良くするしくみ～

Q：赤い羽根共同募金ってなんだろう？

A：昭和22年に始まり、今年で77回目となる歴史と実績のある全国的な募金活動です。「自分のまちを良くするしくみ」というテーマで、運動期間は10月1日～翌年3月31日までの6か月間で行われます。

シンボルマークの赤い羽根には「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」という意味があります。

Q：どのような募金活動をしているの？

A：山梨県共同募金会 富士川町分会で実施している募金活動は8つあります。毎年多くの方々のご協力により、募金活動が展開されています。

街頭募金

10月に、町内店舗前をお借りしてPRも兼ねて募金運動を行います。



家庭募金

一世帯あたり800円程度の募金協力をお願いしています。(各組の福祉推進員に取りまとめていただきます。)



学校募金

町内の小中学校、保育園に組み立て式募金箱を設置して、児童や生徒に募金協力をお願いしています。



職域募金

主に町内官公庁等の職員を対象に募金協力をお願いしています。



大口募金

町内の企業・商店等を訪問して募金協力をお願いしています。



歳末たすけあい募金

日蓮宗寺院及び檀信徒協議会による托鉢、各種団体、企業の従業員からの募金協力をお願いしています。



募金箱

募金箱を町内の商店や役場等をお願いをし、設置してあります。



自動販売機募金

売上の一部を募金しています。富士川町内は、「まほらの湯」「富士川いきいきスポーツ公園」に設置してあります。



Q：募金活動で集めたお金はどのように使われているの？

A：ご協力いただいた募金の約7割は、地域の福祉に関する様々な事業に使われます。

残りの約3割は、広域的な課題を解決するほか、災害時の備えのために使われます。



一人暮らしの会食会



災害ボランティア訓練



各小地域福祉活動



ボランティアの活動推進



敬老週間記念品贈呈



老人憩いの家整備事業の助成



歳末たすけあい事業



ゆずカフェへの助成

～共同募金に関するお問い合わせ先～

山梨県共同募金会 富士川町分会（地域健康福祉センター内） 0556-22-8911（担当：上野）

(株) ケアライフ

**リハビリオアシス
デイサービスあおやぎ**

〒400-0501
富士川町青柳町508
TEL 0556-22-8732
FAX 0556-22-8735

**リハビリオアシス
デイサービスますほ**

〒400-0501
富士川町青柳町983-2
TEL 0556-42-8020
FAX 0556-42-8020

ご利用者さま第一主義・心からのケア（サービス）



(株) ヒューマンサービス山梨

代表取締役社長 依田 茂巳

本社：山梨県南巨摩郡富士川町長沢 687-2 TEL 0556-22-5995

ヨココブ フロ

リ-ダ イ物 0120-4652-26 fax0556-22-5985

訪問入浴・訪問介護・通所介護（いきいきくらぶ第2）

地域密着型通所介護（いきいきくらぶ）・居宅介護支援

自由で家庭的な雰囲気の中で その人らしく
ゆつくり・のんびり・生き活きと
普通の暮らしを応援しています！

(有)
みんなの家

どんぐり

〒400-0504
南巨摩郡富士川町小林1954-7

TEL 0556-22-4709

FAX 0556-22-4718

代表取締役 田中淑子

・居宅介護支援事業所

・デイサービス

・認知症対応型グループホーム



・カラー・モノクロチラシ・パンフレット
・パッケージ・各種封筒・各種広報
・各種伝票・デザイン名刺 etc.

Top
Higuchi Printing

21世紀 信頼と心
樋口プリンティング

鯉沢本社 〒400-0601 山梨県南巨摩郡富士川町鯉沢807
TEL (0556) 20-1156 FAX (0556) 20-1157

富士川町内の支え合いを考える会

地域で支え合い活動をしている方、地域の支え合い活動に関心を持ってくれた方が交流し、意見交換、情報交換ができる場として、開催しています。

人が集まり、グループになっていく事で今後の活動に繋がっていくことが期待されます。



第4回 富士川町の支え合いを考える会（5月18日）

前半は地域で既に活動しているメンバーの方に、活動発表をしていただきました。

後半は2グループに分かれ「富士川町にこんな活動があったらいいな、やってみたいな」「そのために必要なモノ・場所、協力して欲しい人」をテーマに意見交換を行いました。



地域の困り事支援



新小林サロン設立準備会



わくわくキッチンふじかわ



ボランティアグループと
ひきこもり支援団体の協力



地域の関係づくり

第5回 富士川町の支え合いを考える会（7月21日）



地域の困り事支援



地域の関係づくり

地域の困り事支援グループでは、第4回で出た「困り事を頼みあえる、助け合える仕組み」をテーマに意見交換を行いました。

地域の関係づくりグループでは、メンバーからの案で「町の空施設（第2保育所等）の年間を通しての活用」という話題になりました。住民、行政、社協、様々な団体等が協働して、住民誰もが自由に集まれる居場所を目指して話し合いをしていきます。

次回以降のご参加もお待ちしております。ご興味のある方は社会福祉協議会までご連絡ください。

お問い合わせ ☎ 0556-22-8911 担当 井上

ひろがる つながる あなたの街のケーブルテレビ
富士川CATV

エリア 富士川町・南アルプス市甲西地区・市川三郷町一部

☎ 0120-974-776

<http://www.fujikawa-net.co.jp>

山梨県南巨摩郡富士川町最勝寺767番地1

望月石材店

〒400-0501 富士川町青柳町311-1

TEL 0556-22-1295

FAX 0556-22-4722

展示場 南アルプス市東南湖 (株)はくばく前

富士川町シニアクラブ連合会だより

令和5年度 富士川町老壮大学開講！

6月29日（木）町民会館にて、令和5年度富士川町老壮大学が開講されました。新型コロナウイルスの影響で開講式は3年ぶりとなりました。

記念講演では「富士川町の民話」をテーマに、講師の宮澤さん、大森さんに紙芝居で富士川町内の地域にまつわる話を教えていただきました。



老壮大学7月講座 ～住みます芸人による「高齢者漫談」～

7月28日（金）に開催した老壮大学7月講座では、山梨住みます芸人「いしいそうたろう」さんと、東京住みます芸人「中村ひでゆき」さんにお越しいただき、「高齢者漫談」をテーマに笑いの渦を起こしていただきました。

とても良い機会となり、大学生の皆さんからも好評の声をいただきました。



いしいそうたろうさんは
甲州弁をテーマに笑いを



中村ひでゆきさんは高齢者宅に訪問した際、
実際にあった面白体験を

医療法人 快療会

くつま整形外科医院

院長 久津間 健治

〒400-0501

山梨県南巨摩郡富士川町青柳町1136-1

TEL 0556-22-6688 FAX 0556-22-4840



社会福祉法人戸川会

福寿荘きらきら

（特別養護老人ホーム・デイサービス・居宅介護支援事業）
TEL0556-22-7531 FAX0556-20-1210

福 寿 荘

（特別養護老人ホーム・ショートステイ）
TEL0556-22-5501 FAX0556-22-5815

ボランティア情報

特集!!

夏休みの子どもたちの福祉体験



すごく楽しく
勉強になった!

ふじかわサマーワーク

「ゆずカフェとおもちゃ図書館のボランティア体験を実施し、
小中学校合わせて7人が参加してくれました!」

ゆずカフェボランティア

活動内容

ゆずカフェ運営のお手伝いや参加者の皆さんとおしゃべりするなど



お年寄りの方とふれあう
機会がありませんので今回
のボランティアでお話して
きてとても楽しかったです。
増穂小学校 4年生

初めてボランティア体験に
参加したけど、楽しかった
し、また機会があったらボラ
ンティア活動に参加したいと
思いました。

増穂小学校 4年生



ボランティア体験して
みて、高齢者の方とお話
したり、夏祭りを一緒
に楽しめてとても楽しか
ったです。

鰺沢小学校 4年生

ボランティア体験をし
てみて、とても楽しくで
きました。また、いろん
な方たちともお話しでき
てよかったです。

増穂小学校 5年生

おもちゃ図書館 ボランティア

活動内容

0~3歳の子どもたちと一緒に遊んだり
お話ししたりするなど

もともと小さい子が大好きで、今回チラシをみて、
参加したい!と思い参加しました。
赤ちゃんを抱っこさせてもらったり遊んだり
して、とても楽しかったです。また、時間が
合えばボランティアに来たいです。



鰺沢中学校 2年生



ちっちゃい子のお世
話や遊んだりすること
が好きで、今回参加し
てみて、とても楽しか
ったし、参加できてよ
かったです。

増穂小学校 4年生

はじめは、どうやっ
て遊んであげたらいい
かわからなかったけ
ど、一緒におもちゃで
遊んでいくうちに自然
と遊べるようになって
よかったです。

増穂小学校 4年生





夏のあのねのね

おばあちゃんたちとお話したり料理してとても楽しいね♪



おばあちゃんたちと一緒に

『おざら』などを作りました！

7月25日と8月10日の2日間に分けて、夏のあのねのねを開催しました！子どもたちはおばあちゃんたちに色々と教わりながら楽しく、料理をしていました。

～子どもたちからの感想～

生地をこねたり伸ばしたりして楽しかった！



一生懸命自分で作った料理だからすごくおいしかったし、楽しかった

どの料理もおいしかった！



第9回

ふくし



今回、第9回のインタビューは“**鮫田敏光さん**”です。

Q.ふくしと聞いてどんなことをイメージしますか？ Q.自分の住んでる地区でも感じますか？

A. **“困っている人の手助けをする”**です。

Q.どうしてこの言葉を選びましたか？

A.昔は、近所や近隣の方たちでお互いに困っていたら手助けをすることが当たり前でした。また、困っている人も遠慮することなく、その好意を受け取っていた形でした。しかし、徐々に働き方も変わり、多くの人々が今では町内だけでなく、町外へ働きに出ていて、家に帰るのが遅かったり夜勤や土日出勤など様々な要因で家にいることが少なくなり、近所に誰がいるのかもわからなくなっている現状だと思います。そのため、この言葉が改めて重要となると思い、選びました。

A.私の住んでいる地域でも感じますね。働きに富士川町内だけでなく、甲府や南アルプス、身延など遠くへ行っている人が今は多い気がします。あとは、手助けをしづらい環境にもなっているのを最近感じたことがありました。車に乗ってて、昔は歩いている方に声をかけて乗せたりしていたけど、今は逆にそれをすると遠慮されてしまいます。ふくしがあたりまえの環境がまた戻ってくるといいなと思います。



ちょこっとさんの送迎ボランティアを募集しています！

ちょこっとさんは住み慣れた地域で、安心した生活が送れるよう、生活上のちょこっとした困りごとをお手伝いする、有償のボランティア活動です。買い物、通院の移動手段にお困りの方を送迎するボランティアを募集しています。

空いている時間に、ご自身の出来る範囲で、無理なく活動して頂けます。ご協力いただける方は下記までご連絡をよろしくお願いたします。

お問い合わせ：富士川町社会福祉協議会 ☎ 0556-22-8911 担当 井上海地

ご寄附ありがとうございました

次の方から、心温まる善意をお寄せいただきました。心から感謝申し上げます。

(7月8日から8月31日の間にご寄附いただいた方) 受付順

- ・長澤 茂夫 様(天神中條区) 亡母、長澤 とみ糸 様のご遺志により、富士川町増穂デイサービスセンター運営のために 一金 30,000 円
- ・いち柳ホテル 様(青柳町区) タオル 多数
- ・望月 姫子 様(最勝寺区) タオル、バスタオル、シーツ、枕カバー、団扇 等多数
- ・匿名 様(中部区) スーツ、ポロシャツ、ズボン、靴下 等多数
- ・宇佐美 万起子 様(穂積区) 梅干し 約 3.5kg



ボランティアグループ
カトレア会会員の作品



この広報誌は赤い羽根共同募金配分金により発行されています。

富士川町社会福祉協議会ホームページ

URL <http://www13.plala.or.jp/f-syakyo/>



富士川町社会福祉協議会 Instagram

